

# ふれあい

平成21年 7月 第280号

大代地区コミュニティ推進協議会  
(編集部)

事務局：大代地区公民館  
☎364-8442

## 〈掲載目次〉

- 「地震は怖い」が、津波にもご用心・・・1
- ゴルフ体操でいつも元気・・・2
- 松の剪定・・・2

- 大代第一百寿会春の研修旅行・・・2
- 大代の歩み(十六)・・・3
- ふれあい短歌・俳句・・・3
- コミュニティサイエンス・・・4

### 「地震は怖い」が、

津波にもご用心  
大代西区 高橋 傳廣

私たちは、常に平和で安全に暮らせることを願い、意欲をもって、前向きに、さまざまな欲望を成し遂げようと努力しています。人生には予期しないことが突然起こり、一瞬にして幸せを奪われることがあります。それは、事件や事故の巻き添えで尊い命を落とす不運な出来事もあります。もつと怖いのは大地震などの恐ろしい天災があるからです。

さて、日本は世界でも有数の地震国で火山列島といわれるくらい、国土の全域にわたって、いつ火を吹いてもおかしくない活火山が存在している島国です。火山活動に伴う地震が頻発するのも、一つの宿命と言えるかもしれません。

地震はそれ自身が恐ろしいエネルギーを持ち、私たち日本人の「怖いもの」の筆頭を占めてきました。もつと「怖いもの」は地震によって引き起こされる「津波」があります。

津波は、海底の隆起や陥没という急激な地形変動から起こる海底地震によって発生するので、四方が海に囲まれている日本では、海岸の拓けた低地からの侵入はたやすく、また、河川や運河などの河口から逆流して来るので、私たちの力では防ぐ術はありません。有史以来、日本を襲った津波のうち、

海岸での最大波高が五メートル以上に達する津波として記録されているものは四十件ほどあり、この中でも三十メートル以上という想像を絶する巨大津波は過去に八回あったそうです。東北の三陸沿岸や仙台沿岸を襲った津波は、明治以降だけでも、明治二十九年の「明治三陸津波」昭和八年の「昭和三陸津波」があり、更に昭和三十五年の「チリ地震津波」など、日本で被害を受けた大きな津波の半数以上がこの地域で発生しているようです。

「明治三陸津波」は宮城県と岩手県の被害が甚大で、死者、行方不明者は二万二千人余と記録されております。「昭和三陸津波」から今年七十六年目になるので、近い将来に確率が高いと言われている、宮城県沖地震が発生して、大きな津波が仙台港と塩釜港から押し寄せて来たら、大代の街はどうなるでしょうか？想像しただけでも恐ろしくなります。

「自分と家族が何処へ避難すれば安全なのか」、迅速に避難できる場所を日頃から決めておくことが何よりの対策だと思います。

### 「津波の被害を防ぐ六つの心得」

- ① 震度4程度以上の地震を感じたら、まず津波の用心。急いで海岸から離れて高台の安全な場所まで避難しましょう。
- ② 震源地が遠い地震の場合、揺れぐあいはそれほどでなくとも、津波が押し寄

せて来ることがあります。小さな地震だからといって、決して侮つてはいけません。

③ 昭和三十五年の「チリ地震津波」は、太平洋を越えて押し寄せて来ました。このように揺れを全く感じなくても津波だけ襲ってくる場合もあります。津波警報が発表されたら、危険区域の人は地震を感じなくても、すぐに避難してください。

④ 小さな津波も、海岸の地形によって突然大きな津波に変わることがあります。警報でなく注意報だからといって、海水浴や磯釣りは危険です。

⑤ 津波は繰り返し襲ってきます。また、最初の波より二番目、三番目の波の方が大きいことが多いので、津波警報が解除になるまで気をゆるめてはいけません。

⑥ 津波の情報は、デマに惑わされず、気象庁発表による正しいものを聞いてください。警報や情報はラジオ、テレビ、広報車、または鐘、サイレンで伝達されます。

「災害は、忘れた頃に、やってくる」これは防災川柳でしょうか？時々想い出しましょう。

## ゴルフ体操でいつも元気

大代第一百寿会 佐藤 秀一

毎週月曜日グラウンド・ゴルフを楽しんでいます。

第一百寿会は、今年度も毎週月曜日に

緑地公園においてグラウンドゴルフを始めました。年齢を重ねるごとに歩行事も少なくなってきました。そんな時、仲間と共に元気に歩き廻る事で少しでも健康な身体を維持出来たらと考えます。散歩しながらのぞいてみて下さい。この写真はグラウンドゴルフをする前の準備運動です。



## 松の剪定

大代地区公民館玄関前の松、山茶花の剪定、消毒作業をご好意により六月十三日に一日掛けて行っていただいた方がいました。名前は伏せてくださいとのことでしたので、この場をかりて感謝申し上げます。

## 大代第一百寿会春の研修旅行

大代第一百寿会 渡邊 清

今年も大代第一百寿会恒例の行事春の研修旅行を去る五月十八日〜二十一日まで、三泊四日で行い、名湯、名山の山形

蔵王温泉探訪に私も参加しました。どんな様も、蔵王温泉はよく知りつくしておられると存じますが、第一百寿会の研修旅行についてその一部をご紹介します。今回の参加者は大代第一百寿会会長の荒木慶蔵様以下十五名でした。宿泊は数年同じ蔵王温泉ホテル松金屋アネックスに到着するや顔見知りの先客多賀城市浮島の長寿会の皆さん、昨日到着されており、また五月上旬には大代第二百寿会の皆さんが来られたそうです。いずれも三泊四日の日程のようです。目的を以て参加することにより、あつと言う間の三泊四日でした。まだまだ健脚の方々には日本一古い千九百年続く奥州の名湯に入りぬびりと体を癒やし体調を整え周辺の研修にホテルの近くには、鳴の谷地沼があり一周千五百米周辺は森林の中に遊歩道が整備され斉藤茂吉の歌碑あり水芭蕉の群生地あり横倉瀧ありと森林の中散策見どころが沢山あります。また、定員百一名乗りロープウェイにて蔵王山頂千三百八十七米蔵王大黒天展望台よりの眺めは新緑と残雪が調和し最高です。標高約九百米のシンド沢にある一度に二百名が入れる蔵王温泉大露天風呂新緑林の中で野鳥の声を聞きながらの入浴はまた格別です。一方標高八百五十米程に蔵王温泉の神様酢川温泉神社があり、石の階段約二百段下りると蔵王温泉街、高湯通り、カラーレンガ敷きの通り古くからの旅館

やお土産屋、共同風呂など約五百米にわたって続いておりました。途中足湯につきり蔵王名産、稲花餅をいただき一休み。また高齢の方、脚腰に自信のない方は◎日本屈指の温泉湧出量◎本物の温泉全国有数の強酸性湯◎心と体に沁み渡る癒やし湯の湯につかりのんびりと体調を整い夜の懇親会と続き、舞台では民謡、踊り、カラオケ、等お互いの親睦を深めることができました。今回の研修旅行では健康な方も高齢の方も多少足腰の弱い方もその目的により行動し体調を整い盛會に研修旅行を全員無事故に終了することができました。

最後に第一百寿会の皆さん次回秋の紅葉時期の研修旅行には多数参加されることを願っております。また第一百寿会に入会され一緒に研修旅行及びその他の行事に参加してみませんか。会員一同お待ちしております。

## 大代の歩み (十六)

大代南区 渡邊 巖

『貞山運河』の名称 (一)

次いで第二の正式な名称は「貞山堀」になる。これは明治一六〇二三(一八八三〇九〇)年に亘って運河の改修工事が行われた際、明治一三〇四年頃に県の土木課長であった早川智寛が、伊達政宗の運河大構想を偲び、政宗の諡である「貞山」と名付けたものであるという。

『貞山運河』の名称 (二)

次いで第三の名称である「貞山運河」であるが、明治一六年から始まった貞山堀改修による通船を待つて県が定めた運河取締規則の中で、通航船舶の大きさ・速力等と共に「貞山堀」が『貞山運河』と改称されている。

これは、当時既に開通していた野蒜運河・東名運河との釣り合いから「堀」を「運河」と変えたものと思われる。

貞山運河は、昭和四〇年の河川法改正以前は、阿武隈川河口の納屋から塩竈牛生まで名取川・七北田川・砂押川の各水系を横切る一つの河川(運河)と認められていた。

ところが河川法改正以後は各水系毎に分属され、このうち塩竈牛生・蒲生間は貞山運河北部水路の砂押川水系として北貞山運河(塩竈牛生・大代間二・六km)と南貞山運河(大代・蒲生間四・四km)に分割されたのである。では次に此の視点で砂押川水系運河の来歴を見よう。

一、慶長以前の砂押川・七北田川

砂押川は宮城・黒川郡境の松島丘陵を源流とし、多賀城域内で勿来川、長田川、野田の玉川を併せて略東流し、大代で貞山運河に合流する。その流域面積は五二平方キロメートル、流路延長一二・四キロメートルの二級河川である。

続く

## ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

「俳聖」をしのび

俳聖の訪ねし陸奥 偲ぶれば

野田の玉川 千鳥啼くらむ

壺の碑の 流れぞ清き 玉川の

遙かに望む 末の松山

## ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

入院を 笑わせに行く 桐の花

更衣 更に短く 女子高生

ふわふわと 亡き 父母と妻 麦の秋

郭公や 鬼籍入した 人多し

漏刻の 溢れしままの 時惜しむ

笠神西 本郷 勝子

夕風に 靡いて 青田 雨上がる

一面の 青田 さらさら 煌めいて

鳴々の 日々 穏やかな 初夏の潮

残雪 蔵王 大パノラマを ひとりじめ

歌う妻 夏帯をして お吉物語

八幡 森 季子

万緑や かもめしたがう 遊覧船

車窓より 桐の花 並み 喪に向ふ

こもれ陽に アオイトトンボ 輝やけり

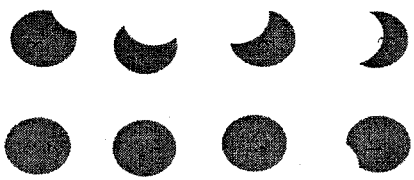
薔薇アーチ 咲きそめしマイバースデー

茅葺きの 並ぶ宿場の 薄暑かな

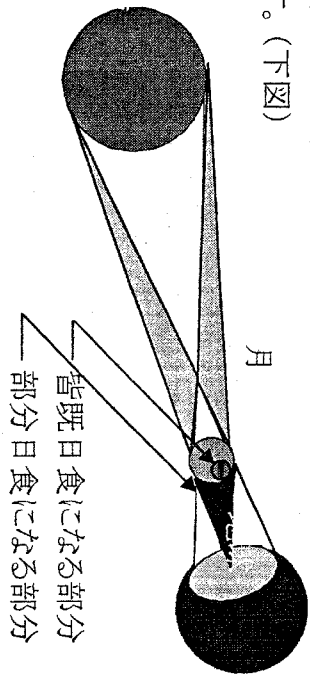
# コミュニティセンター

## 7月22日の日食

大代公園で日食を観よう。食の割合は(欠ける量)  
 65.7%、食の始め、9時59分、食の最大、11時  
 12分、食の終わり、12時26分、欠ける順序は、番号  
 順となります



日食の起こる原理  
 です。(下図)



日食は、太陽、月、地球が、一直線に並んでできる現象、太陽は月の400倍ありますが、見かけの大きさは、あまり変わらない、10円玉を指にはさみ、腕いっぱい伸ばした状態で月に合わせるように月を隠すことができる、この状態が見かけの大きさと云える。反対に、太陽、地球、月が一直線に並んだ時は、月食となります。

大代北区星を観る会は、大代公園で日食の観望会を開催いたします。大代区民なら、どなたでも参加できます。当会の貧窮予算では、参加者に、観測資料(面白い観測A4判)以外に支給及び、貸与出来るものはありません。参加いただく場合、御持参いただく物を記します。画用紙A4位の大きさと2枚、鉛筆、自宅にある方のみ、デジタルカメラ、フィルムカメラ、撮りこもりカメラでもOK、直径3ミリの釘を御用意し、9時まで大代公園に集合してください。雨天、曇天の場合は、中止です。終了は、食の最大経過後となります。約11時30

7月22日の日食のチラシを大代地区(氏館)に置いてありますのでご興味のある方はぜひお持ちください。

分を予定して居ります。詳細お問い合わせは、大代北区星を観る会会長兼町内会長加藤渉までお問い合わせください。電話でのお問い合わせ。364-2105 FAXでのお問い合わせ 364-2306 お待ちしております。

200円カバンで貞山運河をナイヤガラ

ラの滝にしよう

大代地区唯一の恒例行事、大代地区流灯花火大会は、年々御芳志の減少にて、花火の打ち上げ数量を制限される予算になってまいりました。参列された方々にも、打ち上げ数量が少なく、と御批判頂いております。企画運営する、大代5区区長会も、これ以上町内会費の拠出は、区民の負担増につながるなどの見解から、区民にお願いし一口(世帯)200円のカバンをお願いしナイヤガラ、貞山運河を川幅いっぱいナイヤガラの滝で表現したいと、考えております。尚、お願いには、町内会役員が訪問いたしますので、なにとぞ、意をお汲み取りいただき皆様のご理解とご協力をお願いいたします。200円カバンで貞山運河をナイヤガラの滝にしよう  
 実行委員会会長 大代地区区長会会長三浦徳男

